

00018

鳥取縣公報

第四百三十三號

昭和八年六月三十日

金曜日

縣令

◇鳥取縣令第十五號

醫師發疹性有熱病其ノ他ノ患者ヲ診察シタルトキ届出方ノ件左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

醫師發疹性有熱病其ノ他ノ患者ヲ診察シタルトキ届出方ノ件

當分ノ内醫師左ノ地域内ニ於テ麻疹、風疹、水痘及其ノ他ノ發疹性有熱病並ニ流行性感冒、流行性耳下腺炎ノ患者ヲ診察シ若ハ其ノ死體ヲ檢案シタルトキハ直ニ其ノ住所、職業、氏名、年齢、戸主トノ續柄、病名及發病、診察又ハ檢案ノ日時ヲ口頭若ハ書面ヲ以テ所在地警察官吏ニ届出ツベシ

00019

本令ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

昭和八年五月鳥取縣令第十號「醫師發疹性有熱患者ヲ診察シタルトキ届出方其ノ他ノ件」ハ之ヲ廢止ス

- 一 鳥取市、米子市
- 一 岩美郡宇倍野村
- 一 東伯郡赤碕町、以西村
- 一 西伯郡御來屋町、名和村、大山村、淀江町、五千石村、境町

◆鳥取縣令第十六號

林產物検査所規則左ノ通定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

林產物検査所規則

第一條 林產物検査所ハ林產物ノ検査及其ノ生産改良ニ關スル事務ヲ掌ル

00020

第二條 林產物検査所ニ左ノ職員ヲ置ク

所 長

技 師

技 手

主 事 補

林產物検査員

第三條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四條 技師、技手及林產物検査員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ林產物ノ検査及生産改良ニ關スル業務ニ従事ス

第五條 主事補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務並會計ニ關スル事務ニ従事ス

第六條 樞要ノ地ニ林產物検査出張所及其ノ所屬ノ林產物検査員駐在所ヲ置ク
林產物検査出張所及林產物検査員駐在所ノ名稱、位置、所轄區域ハ別ニ之ヲ告示ス

第七條 林產物検査出張所ニ主任ヲ置ク
主任ハ上司ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ處理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

附 則

第八條 本令ハ昭和八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 大正十五年三月鳥取縣令第十二號木炭検査所規則ハ之ヲ廢止ス

第十條 本令施行ノ際現ニ木炭検査所規則ニ依リ設置セル職員ハ従前ノ俸給ヲ以テ各本令ニ依リ設置セル職員トシ現ニ木炭検査所ニ勤務スル職員ハ林産物検査所ニ勤務ヲ命セラレタルモノトス

◆鳥取縣令第十七號

入庫検査申請手續左ノ通之ヲ定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

入庫検査申請手續

第一條 穀物検査規則(以下單ニ規則ト云フ)第五條第四項ニ依リ検査ヲ受ケントスル農業倉庫ハ左記ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スベシ

0022

00021

一 申請者ノ名稱及事務所所在地
二 受檢場所

三 一年間ノ受檢豫定數量

四 俵裝ノ方法

五 小作米ニ對スル行實補償並俵裝補給ノ方法及數量金額

六 入庫獎勵スハ受檢獎勵方法

七 燻蒸設備及方法ノ詳細

第二條 前條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ受クベシ

第三條 知事ノ認可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ届出ヅベシ

一 第十條第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更シタルトキ

二 入庫検査ヲ受ケザルニ至リタルトキ

三 四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ入庫獎勵又ハ受檢獎勵ノ爲支出シタル金額

前項第三號ノ事項ハ毎年四月二十日迄ニ届出ヅルコトヲ要ス

第四條 知事ノ認可ヲ受ケタル者ハ穀物ノ保管運搬ニ就キ穀物検査吏員ノ指導ヲ受クルモノトス

00023

第五條 第二條第三條又ハ第四條ニ違背スルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ
附 則

第六條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 昭和四年四月鳥取縣令第三十四號穀物検査許可申請手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鳥取縣令第十八號

穀物検査規則左ノ通之ヲ定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

穀物 検査 規則

第一條 本則ニ於テ穀物ト稱スルハ玄米、精米、小麥及榮種ヲ謂フ

第二條 本則ニ於テ受渡ト稱スルハ賣買、交換、贈與、貸借、辨濟、擔保、寄託又ハ小作料納付等ノ爲本縣内ニ於テ授受スルヲ謂ヒ移出ト稱スルハ本縣外ニ搬出スルヲ謂フ

第三條 本縣内ニ於テ生産セラレタル玄米ヲ受渡シ又ハ穀物ヲ移出セントスル者ハ本則ニ依リ

00024

之ガ検査ヲ受クベシ

本縣外ヨリ移入セラレタル穀物ト雖モ本縣外ニ於テ生産セラレタルコトヲ確認シ難キモノハ之レヲ本縣内ニ於テ生産セラレタルモノト看做ス

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル穀物ハ検査ヲ受クルヲ要セズ

一 一包装ノ定量ニ滿タザルモノ

二 博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ

三 學術研究又ハ試験ノ用ニ供スルモノ

四 自家消費ノ爲他人ニ委託加工スルモノ

五 徵發又ハ強制執行ノ目的物タルモノ及國有ニ屬スルモノ

六 品位極メテ劣惡ナルモノ

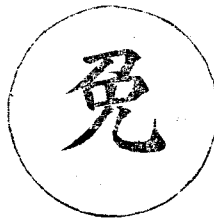
七 特別ノ事由ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタルモノ

前項第二號、第三號、第四號、第六號若ハ第七號ノ玄米ヲ受渡シ又ハ前項各號ノ穀物ヲ移出セントスル者ハ其ノ包装ニ左ノ票箋ヲ附シ最寄穀物検査所出張所又ハ同派出所ニ届出テ票箋ニ左ノ検査免除印ノ押捺ヲ受クベシ

票箋(雛形)長一〇、五糎(約三寸五分)幅四、五糎(約一寸五分)
用紙 強韌ナル模造紙ノ類

縣	市郡	村町
縣	市郡	村町
出 人		
届先人		
昭和	年産立(精)米、小麥、菜種	
正味量	立(盃)	
年 月 日		

検査免除印(雛形)



徑三糎
肉色紫

第五條 検査ハ生産検査、移出検査及入庫検査ノ三種トス

生産検査ハ本縣内ニ於テ生産セラレタル玄米ニシテ受渡セラル、モノニ就キ現品所在地又ハ検査請求者ノ希望ニ依リ穀物検査所長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ

移出検査ハ本縣内ニ於テ生産セラレタル穀物ニシテ移出セラル、モノニ就キ停車場、船積場、農業倉庫又ハ穀物検査所長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ

入庫検査ハ別ニ定ムル規程ニ依リ指定シタル農業倉庫業者ニ寄託スル玄米又ハ精米ニ就キ其ノ倉庫ニ於テ入庫ノ際之ヲ行フ

第六條 本縣内ニ於テ生産セラレタル穀物ニシテ受渡セラル精米ニ就キ生産検査ヲ移出セラレザルモノニ就キ移出検査ヲ希望スル者アルトキハ前條第二項及第三項ノ規定ニ拘ラズ之ガ検査ヲ行フコトヲ得

第七條 検査ハ穀物ノ品質、乾燥、調製、粒形、容量又ハ重量、包装及精米ニ在リテハ精白ノ程度ニ就キ之ヲ行ヒ其ノ品位ニ依リテ左ノ等級ニ區分ス

生産検査

0000

甲、乙、丙、格外、

移出検査及入庫検査

粳玄米大粒及小粒各別一等、二等、三等、四等及等外

粳精米大粒及小粒各別一等、二等、三等及等外

糯米、小麥及菜種一等、二等、三等及等外

災害ノ爲穀物ノ品位ヲ著シク損ジタル場合ニ於テ知事必要アリト認ムルトキハ前項ノ検査等級ニ生産検査ニ在リテハ丙ノ下ニ丁ヲ移出検査及入庫検査ニ在リテハ粳玄米ノ四等ノ下ニ五等ヲ粳精米、糯米、小麥及菜種ノ三等ノ下ニ四等ヲ増設スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テハ豫メ之ヲ告示ス

前各項ノ検査等級ノ標準品ハ別ニ之ヲ定ム

第

八 條 検査ヲ受クル穀物ノ一包裝ノ容量又ハ重量ハ玄米及精米ニ在リテハ四斗(約七二、一

六立)小麥及菜種ニ在リテハ六〇盃(十六貫)トスベシ但シ呟入又ハ袋入ノ精米ハ二斗(約三

六、〇八立)又ハ六〇盃若ハ三〇盃ト爲スコトヲ得

移出検査ヲ受クル玄米及精米ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ定量ヲ缺グモノト看做ス

00028

一 玄米ニシテ生産ノ當年九月一日ヨリ同年十二月十日ニ至ル期間、生産ノ當年糶摺シタル玄

米ニシテ其ノ翌年六月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル期間ニ於テ一包裝四斗三合(約七二、

七〇立)ニ滿タザルモノ

二 機械搗精米ニシテ搗精ノ當日俵入四斗六合(約七三、二四立)呟又ハ袋入四斗六合(約七

三、二四立)又ハ二斗三合(約三六、六二立)ニ滿タズ搗精ノ翌日俵入四斗二合(約七二、

五二立)呟又ハ袋入四斗二合(約七二、五二立)又ハ二斗一合(約三六、二六立)ニ滿タ

ザルモノ杵搗ノ精米ニシテ搗精ノ當日俵入四斗五合(約七三、〇六立)呟又ハ袋入四斗五

合(約七三、〇六立)又ハ二斗二合五勺(約三六、五三立)ニ滿タズ搗精ノ翌日俵入四斗五

一(約七二、三四立)呟又ハ袋入四斗一合(約七二、三四立)又ハ二斗五勺(約三六、一七

立)ニ滿タザルモノ

第

九 條 検査ヲ受クル穀物ノ包裝ハ玄米ニ在リテハ二重俵裝精米ニ在リテハ二重俵裝、呟又ハ

袋小麥ニ在リテハ二重俵裝又ハ麻袋菜種ニ在リテハ呟又ハ麻袋ヲ用ヒ其ノ包裝方法ハ左ノ各號

ニ依ルベシ

一 二重俵裝

(一) 内俵

菰ハ能ク乾燥セル古藁ヲ用ヒ編方ハ小繩ヲ以テ封間各一八纏(約六寸)兩髭ノ長各一五纏(約五寸)トシ四ヶ所ヲ密ニ編ミ房數五十五手編トシ長約一、一五米(約三尺八寸)重量一、九疋乃至二、二疋(約五百匁乃至六百匁)ト爲スコト
棧俵ハ能ク乾燥セル古藁ヲ用ヒ直徑三〇纏(約一尺)重量二個ニテ五六〇瓦乃至七五〇瓦(約百五十匁乃至二百匁)ト爲スコト

繩ハ周リ二、四纏乃至二、七纏(約八分乃至九分)ノ中繩トスルコト

荷造ハ俵ノ小口ニ外側ヨリ棧俵ヲ充テ小口際ヲ目通シ八ヶ所千鳥掛ト爲シ横繩ハ各二廻リ三箇所緊括スルコト

(二) 外俵

菰ノ編方ハ小繩ヲ用ヒ封間中央二四纏(約八寸)左右各二纏(約七寸)兩端髭各一六纏(約五寸)トシ四箇所ヲ密ニ編ミ房數八十手編以上長一、三〇米(約四尺三寸)重量一、一三疋乃至一、五疋(約三百匁乃至四百匁)ト爲スコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニ在リテハ之ニ依ラザルコトヲ得

00030

二 吠

繩ハ打柔ゲタル藁ヲ以テ紮ヒ周三纏乃至三、六纏(約一寸乃至一寸二分)ノ摺掛ノ太繩ヲ用フルコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニハ周二、七纏(約九分)内外ノ繩ヲ用フルコトヲ得

荷造ハ小口際ヲ目通シ九箇所トシ一ツ越目通シ掬ヒ膝トシ終リヲ結止トシ横繩ハ各二廻リ五箇所緊括シ縦繩ハ一筋ニテ四方掛ト爲シ兩端ノ横繩及縦繩ノ交叉點ニハ蛙股ニ其ノ他ノ各横繩ニハ掛戻シニ小口ニ於テハ引締メ男結トシ俵ノ長ハ七六纏(約二尺五寸)内外ト爲スコト但シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受クルモノニ在リテハ縦繩ハ一筋ニテ四方掛トシ兩端ノ横繩ニハ掛戻シ其ノ他ノ各横繩ニハ掛戻ヲ省畧スルコトヲ得

良質ナル打藁ヲ用ヒ織目四十二、長一、七六米(約五尺八寸)幅八八纏(約二尺九寸)トシ重量ハ二、二五疋乃至二、六二五疋(約六百匁乃至七百匁)トシ強靱ナル細繩ヲ以テ一端二十八針以上脱漏ノ虞ナキ様堅ク縫上グルコト

荷造ハ吠口ヲ卷キ兩耳ヲ中央ニ折込ミ細繩ヲ以テ締メ繩ハ二重俵装ノ外装ト同様ノモノヲ用ヒ四斗(約七二、一六立)入ニ在リテハ縦繩ヲ二廻リ四箇所横繩ヲ二廻二箇所

00031

トシ二斗(約三六、〇八立)入ニ在リテハ縱繩ヲ二廻リ三箇所構繩ヲ二廻リ一箇所トシ構繩ハ兩端ノ縱繩ニハ蛙股掛トシ其ノ他ノ縱繩ニハ掛戻シ充分緊括ノ上結止ト爲スコト但シ生産検査ヲ受クル四斗(約七二、一六立)入ノモノニ在リテハ二斗(約三六、〇八立)入ノモノノ例ニ依ルコト

三袋

脱漏ノ虞ナキ強靱ナル麻製ノ重量九三八瓦(約二百五十匁)ノモノ又ハ木綿製ノモノヲ用フルコト

荷造ハ袋口ヲ内側ニ折込ミ之レヲ更ニ一方ニ折り強靱ナル麻糸ヲ以テ卷縫シ袋ノ小口中央部ノ縫絲ニ卷封ヲ施スベキ部分ヲ存スルコト但シ叭ニ準ジ縱横ノ結繩ヲ施スコトヲ妨ゲズ

特別ノ事由アルモノノ包装ハ穀物検査施行手續ノ定ムルトコロニ依リ又ハ知事ノ許可ヲ得テ特殊ノ包装ト爲スコトヲ得

第十條 前條第二項ニ依リ特殊ノ包装ヲ施シ生産検査又ハ入庫検査ヲ受ケタル玄米又ハ精米ニ就キ移出検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ包装ヲ前條第一項ニ定ムル包装ニ改ムルコトヲ要ス

00032

第十一條 検査ハ穀物検査吏員之ヲ行フ但シ穀物検査吏員ト雖モ自己ノ利害ニ直接關係アル穀物ノ検査ハ之ヲ行フコトヲ得ズ

穀物検査吏員其ノ職務ヲ行フトキハ左ノ證票ヲ携帯スルモノトス
證票(雛形)用紙ハ模造紙 長 九糎 幅 六糎

面 表		第 號	
穀物検査吏員證			
職 氏 名			
面 裏		年 月 日交付	
鳥 取 縣 印			

第十二條 検査ヲ受ケントスル者ハ移出検査及入庫検査ハ最寄穀物検査出張所ニ生産検査ハ所管穀物検査派出所ニ左ノ事項ヲ具シ検査請求書ヲ提出スベシ

一 検査ノ種類

二 検査請求者ノ住所氏名

三 穀物ノ種類 (粳糯玄精米、小麦、菜種ノ別) 及數量

四 現品所在地

五 移出スルモノニ在リテハ其ノ仕向地

六 生産検査又ハ入庫検査済ノモノニ在リテハ其ノ検査ノ種類

七 検査手数料金額

八 受検希望ノ月日

九 再検査ヲ受クルモノニ在リテハ其ノ事由及前検査月日

第十三條 検査ヲ受クル穀物ニハ其ノ各包装ニ左ノ票箋ヲ結付クベシ

票箋(雛形)長一〇、五糎(約三寸五分) 幅四、五糎(約一寸五分) 用紙強韌ナル模造紙ノ類

生産検査用

移出検査及入庫検査用

縣 市郡 村大字

生産者

昭和 年 産 玄米

正味量 斗(立)

皆掛重量 盃(貫匁)

年 月 日 検査

品名ニ依リ裏面ニ記載スルコトヲ得

縣 市郡 村大字

受検者

昭和 年 産 粳玄米

正味量 斗(立) 盃(貫匁)

皆掛重量 盃(貫匁)

品名ニ依リ裏面ニ記載スルコトヲ得

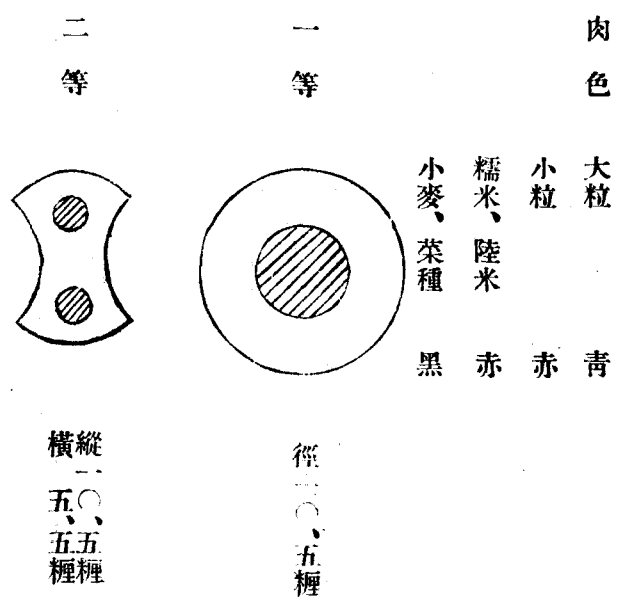
00035
58000

備考 記載事項中「粃玄米」ハ穀物ノ種類ニ依リ「粃精米」、「糯玄米」、「糯精米」、「小麥」又ハ「菜種」ト記載スルモノトス
前項ノ西箋ニハ所更事項ノ外ハ電話番號、振替口座番號又ハ電信畧號ニ限り之ニ記載スルコトヲ得

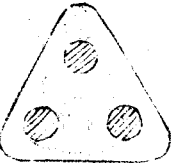
第十四條 検査ヲ受ケントスル者ハ別ニ定ムル規程ニ依リ検査手数料ヲ納付スベシ
第十五條 穀物検査市目検査ヲ行ヒタルトキハ生産検査ニ在リテハ封緘紙ヲ用ヒテ縦繩ノ結止又ハ袋ノ縫込結止ニ卷封ヲ爲シ西箋ニ検査年月日及検査等級ヲ記入シテ検査證印ヲ押捺シ入庫検査ニ在リテハ西箋ニ検査證印ヲ包装面ノ一端ニ検査等級證印ヲ押捺シ移出検査ニ在リテハ西箋ニ検査證印ヲ包装面ノ兩端ニ検査等級證印ヲ押捺ス但シ移出検査ニ在リテハ生産ノ翌年五月一日以後ニ糶摺ヲ爲シタル玄米及精米ニハ糶米記號印ヲ陸米ニハ陸米記號印ヲ糯米ニハ糯米記號印ヲ其ノ包装面ニ押捺ス
袋入ノモノノ移出検査ニ在リテハ検査等級證印ノ押捺ニ代ヘ一等ニ甲、二等ニ乙、三等ニ丙、四等ニ丁、等外ニ格外ノ封緘紙ヲ用ヒ縫糸ノ結止ニ卷封ヲナス
前項ノ検査等級證印、検査證印封緘紙及記號印左ノ如シ

00036

検査等級證印(雛形)

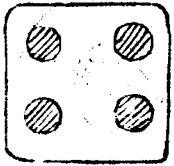


三等



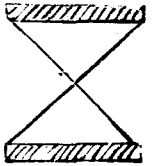
邊一〇、五浬

四等



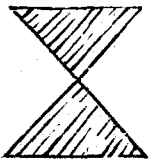
邊一〇、五浬

五等



橫縱一〇、五浬

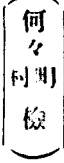
等外



橫縱一〇、五浬

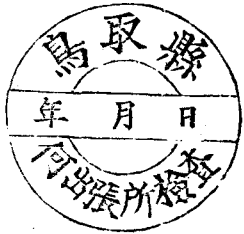
檢查證印(錐形)

生產檢查證印



長徑二浬短徑一浬
肉色紫

移出 檢查證印
入庫

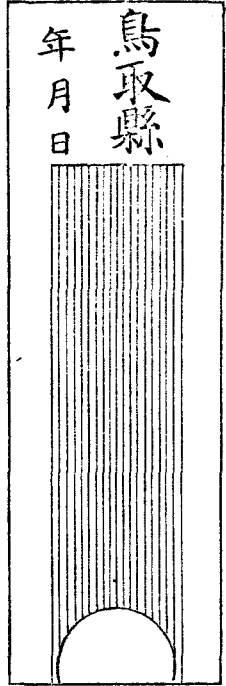


徑三浬
肉色紫

封緘紙(錐形)長一五浬 幅三浬 刷色赤 九浬

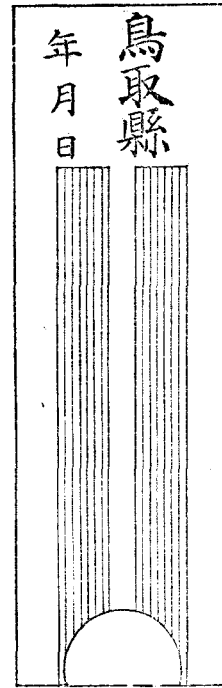
00033

甲



中央ニ
幅一、五纏ノ縦線
一本刷色

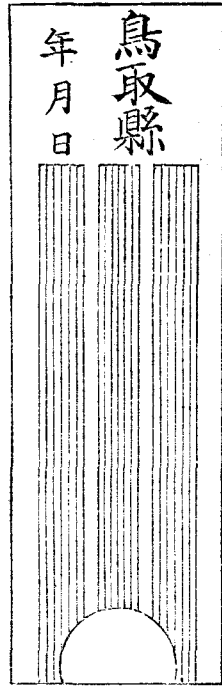
乙



兩側ニ
幅〇、七五纏ノ縦線
二本刷色

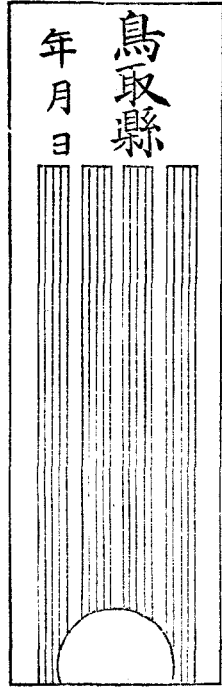
00040

丙



兩側及中央ニ
幅〇、四纏ノ縦線
三本刷色

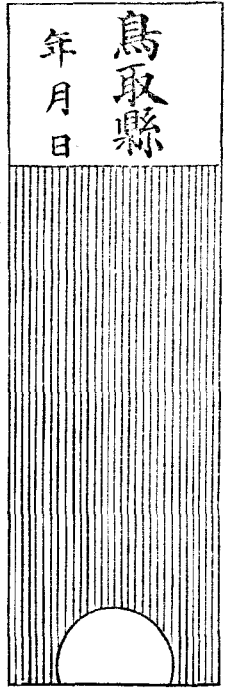
丁



幅〇、三纏ノ縦線
四本刷色

00041

格外



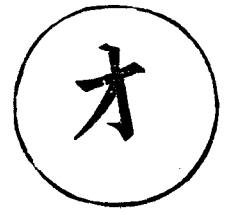
記號印(錐形)肉色赤

今摺米記號印



徑一〇、五〇

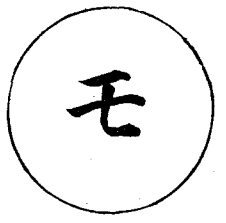
陸米記號印



徑一〇、五〇

00042

糯米記號印



徑一〇、五糧

第十六條 穀物検査吏員検査ヲ行フニ當リ容量、重量又ハ包裝ノ規定ニ適合セザルモノアリタルトキハ其ノ穀物ノ検査ハ之ヲ中止ス

前項ニ依リ検査ヲ中止シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ不備ノ點ヲ正シテ検査ヲ受クルニ非ザレバ其ノ穀物ニ付既ニ爲シタル検査請求ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十七條 検査等級ノ決定ニ對シ異議アル者ハ其ノ検査ノ終了シタル日ヨリ起算シ十日以内ニ再検査ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 前條ノ規定ニ依ル再検査ニ於テ決定シタル検査等級ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

第十九條 検査済ノ穀物ト雖左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ移出スルコトヲ得ズ

00043

- 一 包裝ヲ破損シ又ハ改装シタルモノ
 - 二 検査等級證印又ハ検査證印ノ表示ガ磨滅汚損シ其ノ識別ヲ爲シ難キモノ
 - 三 封緘紙又ハ票箋ヲ毀損若ハ亡失シタルモノ
 - 四 腐敗、變質若ハ減量シ又ハ著シク蟲害若ハ鼠害ヲ被リタルモノ
 - 五 移出検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日ヲ經過シタルモノ但シ玄米ハ收穫ノ翌年五月三十一日迄ニ小麥及榮種ハ生産ノ當年、十月一日ヨリ翌年五月三十一日迄ニ検査ヲ受ケ其ノ期間内ニ移出スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二十條 穀物検査吏員ニ於テ必要アリト認ムルトキハ検査濟ノ穀物ニ就キ再検査ヲ行ヒ又ハ第三十二條ノ規定ニ依ル受託米明細簿ヲ査閱スルコトアルベシ
- 前項ノ再検査及査閱ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
- 第二十一條 再検査ニ依リ前検査ノ検査等級ヲ變更スルトキハ前検査ノ検査等級證印ハ之ヲ抹消シ票箋ノ記載事項ヲ訂正シ生産検査ニ在リテハ封緘紙ヲ破棄スルモノトス
- 第二十二條 検査請求者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會ヒ穀物検査吏員ノ指示ニ從フベシ
- 前項ノ指示ニ從ハザルトキハ其ノ検査ヲ中止スルコトアルベシ

00044

00044

- 第二十三條 検査ノ爲特ニ必要ナル積替、運搬、樹廻、秤量、解裝及改装等ノ勞賃ハ検査請求者ノ負擔トス
- 第二十四條 検査濟ノ穀物ニハ生産年度若ハ品位ノ異ナルモノヲ混ジ又ハ故意ニ濕氣ヲ施シ又ハ減量スルコトヲ得ズ
- 第二十五條 検査濟ノ穀物ヲ降雨雪中ニ運搬シ又ハ濕氣ノ多キ場所ニ置クトキハ適當ナル防濕ノ設備ヲ爲スベシ
- 第二十六條 検査濟ノ穀物ニ就テハ柄ノ部分ヲ除キ長サ三〇糎(約一尺) 周六糎(約一寸)ヲ超ユル米刺ヲ使用スルコトヲ得ズ
- 検査濟ノ穀物ヲ抽出シタルトキハ直ニ之ヲ元包裝内ニ返戻スベシ
- 第二十七條 検査濟穀物ノ包裝面ニ押捺セル検査等級證印、記號印及其ノ包裝ニ添附セル票箋、封緘紙ハ濫ニ之ヲ訂正加除、抹消又ハ破棄スルコトヲ得ズ
- 第二十八條 検査濟ノ穀物ヲ解裝シタルトキハ其ノ封緘紙及票箋ヲ破棄スベシ
- 第二十九條 穀物ノ包裝ニハ本則ニ定ムル検査等級證印又ハ記號印ヲ押捺セル俵、叭、袋又ハ検査證印ヲ押捺シタル票箋ヲ再ビ使用スルコトヲ得ズ

第三十條 穀物ノ包裝ニ商標、荷印其ノ他ノ表示ヲ爲サントスル者ハ其ノ事由、表示方法及實形圖ヲ記載シタル書類ヲ添附シ豫メ穀物検査所長ノ許可ヲ受クベシ

穀物検査所長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第三十一條 移出検査未済ノ穀物ヲ本縣内ニ於テ汽車又ハ船舶ニ依リ移送セントスル者ハ其ノ穀物ノ種類、數量及移送先ヲ穀物検査吏員ニ届出ツベシ

第三十二條 精米業者及糶摺業者ハ受託米明細簿ヲ作り之ヲ營業所ニ備付ケ第四條第一項第四號ニ該當スル玄米ノ加工ヲ受託シタルトキハ其ノ委託者ノ住所氏名、受託數量並受託月日及還付月日ヲ記載スベシ

前項ノ帳簿ハ記載最終ノ日ヨリ六箇月間保存スルコトヲ要ス

第三十三條 運送業者又ハ運送取扱業者ハ検査ヲ受クベキ穀物ニシテ未ダ其ノ検査ヲ受ケザルモノヲ運送シ又ハ運送ノ目的ヲ以テ取扱フコトヲ得ズ

第三十四條 穀物検査吏員又ハ警察官吏ハ本則ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ穀物ノ運搬停止若ハ保管ヲ命ジ又ハ關係資料ノ提供ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第三十五條 本則ノ適用ニ依リ生ジタル損害ハ縣ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼズ

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第三條第一項、第四條第二項、第十九條、第二十條第二項、第二十四條、第二十五條、第二十六條、第二十七條、第二十八條、第二十九條、第三十條第一項、第三十一條、第三十二條、第三十三條又ハ第三十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 検査ヲ免レンガ爲又ハ検査ヲ受クルニ當リ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

第三十七條 前條ノ罰則ハ違反行爲ノ未遂者ニ之ヲ適用ス

第三十八條 本則ノ規定ニ違反シタル者ニ適用ヘベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 本則ニ依ル義務者ハ其ノ代理人、戸主、家族使用人其ノ他ノ従業者ガ本則ノ規定ニ違反シタルトキト雖自己ノ指揮ニ出デザル故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ズ

附 則

第四十條 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

00047

第四十一條 昭和四年四月鳥取縣令第三十二號穀物検査規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
第四十二條 昭和四年四月鳥取令第三十二號穀物検査規則ニ依リ検査ヲ受ケタル玄米及精米ハ本則ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十三條 昭和四年四月鳥取縣令第三十二號穀物検査規則ニ依リ許可ヲ受ケタル商標、記號其ノ他ノ表示ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第四十四條 本則第十五條第三項ニ定ムル検査等級證印ハ小麥菜種ニ限り當分ノ内大正十四年四月鳥取縣令第十三號穀物検査規則ニ定ムルモノヲ使用スルコトヲ得

第四十五條 本則第十三條ニ定ムル票箋ハ當分ノ内昭和四年四月鳥取縣令第三十二號穀物検査規則ニ定ムルモノヲ以テ代用スルコトヲ得

◆鳥取縣令第十九號

穀物検査手数料規則左ノ通之ヲ定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

00048

穀物検査手数料規則

第一條 穀物検査規則(以下單ニ検査規則ト謂フ)第十四條ノ検査手数料左ノ如シ

一 移出検査手数料

玄米一包裝ニ付 金 八 錢

精米一包裝ニ付 金 八 錢

但シ二斗(三六、〇八立)又ハ正味重量三十斤ノモノ一包裝ニ付 金 四 錢

小麥一包裝ニ付 金 五 錢

菜種一包裝ニ付 金 五 錢

一 生産検査手数料

玄米一包裝ニ付 金 三 錢

精米一包裝ニ付 金 三 錢

一 入庫検査手数料

本縣内ニ於テ受渡スル玄米一包裝ニ付 金 二 錢

00049

本縣内ニ於テ受渡スル精米一包裝ニ付 金 二 錢

第二條 検査規則第十九條第二號若ハ第三號ニ該當スルモノノ再検査及検査規則第二十條ノ再検査ニ付テハ検査手数料ヲ徴收セズ農業倉庫ニ於テ検査規則第五條第三項ニヨリ検査ヲ受ケタル小麦又ハ菜種ニシテ検査後直チニ混合保管セルモノ及検査規則第十九條ニ依リ再検査ヲ受クルモノニ付亦同ジ

検査規則第十七條ニ依ル再検査ノ検査手数料ハ検査等級ノ決定ガ前検査ト異リナタルトキハ之ガ納付ヲ免除ス

第三條 検査規則第十六條第二項ニ該當スルモノノ既納手数料ハ之ヲ還付セズ

第四條 検査手数料ハ查受規則第十二條検査請求書ニ鳥取縣穀物検査手数料納收證票(以下單ニ證票ト稱ス)ヲ貼付シテ之ヲ納ス付ベシ

第五條 入庫検査ヲ受クル玄米又ハ精米ノ検査手数料ハ其ノ玄米又ハ精米ヲ農業倉庫ヨリ出庫スル際ニ納付スベシ

第六條 證票ハ左ノ通トシ縣出納吏ノ印章ヲ押捺シテ之ヲ發行ス

00050

證 票 (罐形)



縦 二、一 糶
横 三 糶
縣出納吏ノ印章ハ 朱 肉 色

種 類
一 圓 券
三 十 錢 券
八 錢 券
五 錢 券
三 錢 券

刷 色
紫 色
青 色
黃 色
藍 色
樺 色

二 錢 券 褐 色

第七條 證票ハ縣ニ於テ指定スル證票賣捌人ヲシテ賣捌セシム證票賣捌人ニ對シテハ賣下金額ノ百分ノ四ヲ取扱費トシテ交付ス

第八條 證票賣捌人證票ノ交付ヲ受ケントスルトキハ其ノ代金ヲ前納スベシ

第九條 損傷又ハ汚染シタル證票ハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

前項ノ證票ハ引換ヲ請求スルコトヲ得

附 則

第十條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 昭和四年四月鳥取縣令第三十三號穀物検査手数料規則本令ハ施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十二條 昭和四年四月鳥取縣令第三十三號穀物検査手数料規則ニ依リ發行セル證票ハ本則ニ依

ル證票ト同一ノ効力ヲ有ス

第十三條 本令施行前ニ於テ指定ヲ受ケタル證票賣捌人ハ本令ニ依リ指定シタルモノト看做ス

訓 令

00052

鳥取縣訓令甲第九號

穀 物 檢 査 所 長

穀物検査規則施行手續左ノ通之ヲ定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

穀 物 檢 査 規 則 施 行 手 續

第一條 穀物検査規則(以下單ニ規則ト謂フ)ニ定ムル検査ハ本手續ニ依リ之ヲ行フベシ

第二條 穀物検査吏員ハ本縣外ニ於テ生産シタルコトヲ承認スル爲其ノ穀物ノ移入又ハ搬入ノ點檢ヲ爲シ之ヲ點檢簿ニ記載スベシ

外國米、臺灣米ハ本縣内ニ於テ精白シタルモノト雖點檢確認ニ依リ本縣内ニ於テ生産シタルモノト看做サザルコトヲ得

第三條 検査ハ日出前日没後又ハ光線ノ不充分ナル場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得ズ

第四條 規則第四條第一項第六號ノ品位極メテ劣悪ナルモノトハ碎、濡、腐敗、燒等人工ヲ以テ改善シ得ザル穀物ヲ謂フ

00051

検査吏員規則第四條第二項第七號ノ検査免除ヲ承認ヲセントスルトキハ穀物検査所長ノ指示ヲ受クベシ但シ本縣内ニ於テ受渡ヲナス玄米ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 災害ノ場合ニ贈ルモノ

二 冠婚葬祭ノ場合ニ贈ルモノ

三 他家ニ在ル自己ノ家族ノ食糧トシテ送ルモノ

四 扶養義務者ヨリ扶養者ノ食糧トシテ送ルモノ検査吏員規則第四條第二項ノ届出ヲ受ケタル

トキハ其ノ事由ヲ調査シ票箋ニ承認年月日ヲ記入シ検査免除印ヲ押捺シ備付ノ承認簿ニ記載スベシ

第五條 同一地方ニ規則第五條第二項ノ検査請求者多數アルトキハ検査請求者ノ間ニ於テ検査場所ヲ協定シ代表者名ヲ以テ願出ヅベシ

規則第五條第三項ノ検査ハ検査請求者ノ願出ニ依リ之ヲ行フ但シ検査施行上支障アリタリト認めタル場合ハ之ヲ取消スコトアルベシ

第六條 検査ヲ行フニ當リテハ検査請求書ノ記載事項ト現品トヲ照合シ各包装ニ就キ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フベシ

一 票箋記載事項

二 包装

三 品位

四 皆掛重量

五 容量又ハ正味重量

第七條 容量検査又ハ正味重量検査ハ二十包装ニ就キ一包装以上ノ割合ヲ以テ行フベシ
容量ノ方法ハ樹ニ一割以上余分ニ盛り静ニ斗概ヲ向押トナスベシ

検査ノ結果容量又ハ正味重量ノ定量ニ滿タザルトキハ各包装毎ニ検査吏員立會ノ上同種同級ノ穀物ヲ補填セシムベシ

第八條 皆掛重量ハ包装毎ニ就キ其ノ正否ヲ檢シ票箋記載ノ重量ト差異アルトキハ検査請求者ヲシテ訂正セシメ穀物検査吏員之ニ認印ヲ押捺スベシ

第九條 包装ノ検査ハ規則第九條ノ各事項並緊括ノ程度ヲ検査スベシ
特別ノ事由アルモノハ生産検査ニ長一、一五米(約三尺八寸)各封間一八糎(約六寸)編ミ房數百十四手以上重量三、七五疋(約一貫)以上ノ三本繩複式編儀ヲ使用セシムルコトヲ得

00055

生産検査又ハ入庫検査ヲ受クル外俵ニ在リテハ著シク汚染損傷セザルモノ及裏返シセルモノヲ使用セシムルコトヲ得但シ規則第六條ニ依ル移出検査ヲ受クルモノニ在リテハ受渡關係者ノ希望ニ依リ規則第九條ノ正規ノ包装ニ依ラザルコトヲ得

第十條 入庫検査済ノ玄米及精米ヲ移出セントスルトキハ左ノ各號ニ依リ之ヲ行ヒ検査等級證印ヲ押捺スベシ

一 規則第九條ノ正規ノ包装ニ依ルモノハ票箋及包装ヲ検査スルモノトス

二 規則第十條ニ依ルモノハ改装校票箋、包装、品位、重量及容量ヲ検査スルモノトス

前項第一號ノモト雖検査吏員必要ト認ムルトキハ品位、重量及容量ヲ検査スルモノトス

入庫検査ヲ受ケタル玄米及精米ヲ本縣内於テ受渡ノ爲出庫スル者アル場合ハ其ノ用途、等級及數量ヲ申告セシメ各包装面ニ左ノ記號ヲ表示スベシ

記號(雜形) 着色 赤

× 長一一種(約三寸六分) 幅 一、五種(約五分)

第十一條 品位検査ノハ米刺ヲ用ヒ各包装ノ二箇所以上ヨリ穀物ヲ抽出シ品質、乾燥、調製、粒形及搗精ノ程度ヲ標準品ニ準據シテ鑑別スベシ但シ必要ト認ムルトキハ解裝セシメ検査スルコト

00056

ヲ得検査ヲ行フニ當リ穀物ノ乾燥又ハ調製不良ニシテ改良ノ必要アリト認ムモノハ其ノ方法ヲ指示スベシ

検査ノ爲抽出シタル穀物ハ各包装中ニ返戻スベシ但シ返戻困難ノ場合ハ請求者ニ返戻セシムベシ

第十二條 穀物検査吏員ハ自己又ハ自己ノ家族ト直接受渡ニ關係アル穀物ノ検査請求書ヲ受理シタルトキハ他ノ穀物検査吏員ニ其ノ検査ヲ求ムベシ

他ノ穀物検査吏員前項ノ検査ヲ行ヒタルトキハ検査請求書ニ成績ヲ記入シ所管穀物検査吏員ニ送附スベシ

第十三條 検査請求書ハ法人並組合ニアリテハ事務所所在地及其ノ名稱集合検査ハ代表者ノ住所氏名ヲ記シ請求セシムベシ

生産検査ノ請求ハ派出所ノ設置ナキ町村ニハ検査申込所ヲ設ケ請求セシムルコトヲ得

検査ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ包装數ニ對スル検査手数料納收證票ヲ調査領收シ公平敏速ニ

處理シ請求ノ順序ニ依リ検査ヲ執行スベシ但シ受檢準備完了セザルモノ又ハ土地ノ狀況ニ依リ

穀物検査吏員ノ順路ト現品所在地ト相反スルトキ又ハ検査ノ日割ヲ定メタルトキハ請求ノ順序

00057

ニ依ラザルコトヲ得

第十四條 検査ヲ行ヒタルトキハ規則第十五條ニ定ムル事項ノ外左ノ處理ヲ爲スベシ

一 生産検査ヲ行ヒタルトキハ封緘紙ヲ包裝ノ縦繩結止(二重茶釜)ニ卷付ケ之ニ生産検査證印ヲ以テ封印ヲ爲ス

二 移出検査ヲ行ヒタルトキハ粒種及検査等級ニ從ヒ包裝面兩端ノ横繩ノ外側ニ各一個ノ検査等級證印ヲ押捺シ記號印ハ検査等級證印ノ横ニ一個ヲ押捺ス

三 入庫検査ヲ行ヒタルトキハ移出検査ニ準ズ但シ検査等級證印ハ一個ヲ押捺ス袋ヲ用フルモノハ封緘紙ヲ以テ卷封ヲ爲シ認印ヲ以テ封印ス

第十五條 規則第十六條第二項ニ依リ検査請求ノ無効トナリタルモノノ顛末ハ検査報告ヲ以テ特ニ穀物検査所長ニ報告スベシ

規則第二十二條第二項ノ場合ニ於テハ前項ニ準ジ報告スベシ

前二項ノ事項ハ検査中止簿ニ記載シ之ヲ整理スベシ

第十六條 規則第十七條ノ再検査請求書、受理シタルトキハ前検査ニ關與セザル穀物検査吏員ヲ指定シ其ノ顛末ハ直ニ當該吏員ヨリ穀物検査所長ニ報告シ其ノ所管出張所又ハ派出所ハ當

00058

該帳簿ニ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スベシ

第十七條 規則第十九條第二號又ハ第三號ニ該當スル穀物ニシテ内容異狀ナキコトヲ確認シ得ル場合ハ規則第十五條ニ依リ處理スベシ

規則第十九條第一號、第四號又ハ第五號ニ該當スルモノハ規則第十五條及第二十一條ニ依リ處理スベシ

前各項ノ顛末ハ當該帳簿ニ之ヲ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スベシ

第十八條 規則第二十條ノ再検査ハ穀物検査所ニ勤務スル監督及穀物検査所出張所主任之ヲ行ヒ前検査ヲ更正スル必要アルトキハ規則第二十一條ヲ適用スベシ

前項ノ前検査更正ノ場合ハ之ヲ前検査所管出張所又ハ派出所ニ通知スルト共ニ當該帳簿ニ記載シ検査報告ヲ以テ毎月穀物検査所長ニ報告スベシ

規則第二十條ノ查閱ヲ行ヒタルトキハ規則第四條第二項ニ依リ検査ヲ免除シタルモノナリヤ否ヤヲ照合スルヲ要ス

第十九條 規則第二十四條、第二十五條、第二十七條又ハ第二十九條ニ違反スル穀物ハ規則第十九條ニ依リ再検査ヲ行フモノトス

00059

第二十條 規則第二十九條ノ検査證印トハ生産検査證印、移出入庫検査證印及検査免除印ヲ謂フ
 第二十一條 規則第三十一條ノ届出ヲ受ケ之ヲ承認シタルトキハ承認簿ニ記載スルト同時ニ必要ト認ムルトキハ關係穀物検査吏員ニ通報スベシ
 第二十二條 穀物検査吏員ハ玄米ニ在リテハ十月三十一日迄ニ小麥及菜種ニ在リテハ五月三十一日迄ニ所管内生産穀物ノ調査ヲ行ヒ併セテ穀物改良及包装改善ノ指導ヲ爲スベシ
 第二十三條 穀物検査吏員ハ所管内ヲ巡視シ規則違反ノ事實ヲ發見シタルトキハ直ニ規則第三十四條ノ處理ヲナシ證據ヲ蒐集シテ穀物検査所長ノ指示ヲ受ケ正規ノ手續ヲ爲スベシ但シ急ヲ要スル場合ハ最寄警察官吏ニ通知又ハ告發ノ手續ヲ爲シ即時穀物検査所長ニ報告スベシ
 第二十四條 検査ヲ終了シタルトキハ當該帳簿ニ登録シ検査請求書ヲ整理シ毎月五日迄ニ其ノ前月分ヲ一絡メト爲シ検査報告ト共ニ穀物検査所長ニ提出ズベシ

附 則

第二十五條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第二十六條 昭和四年四月鳥取縣訓令甲第八號穀物検査規則施行手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

告 示

00060

◇鳥取縣告示第二百七十號
 昭和七年五月二十日付鳥取縣告示第二百號左記養蠶實行組合設立届出ハ重複ニ付取消ス
 昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

名 稱	事務所ノ所在地	設立年月日
松原養蠶實行組合	氣高郡大郷村松原九一番地	昭和六年十二月七日
右 同	右 同	取消年月日
右 同	右 同	昭和八年六月二十日

◇鳥取縣告示第二百七十一號
 岐阜縣本巢郡山添村大字會井中島字東川原六四八番地ノ一、六畝二十五步、同六四八番地ノ二、一畝二十五步、同六四八番地ノ三、三步ノ墓地ハ全部改葬スルコトトナリタルニ付右墓地ノ葬主終故

00061

記號	番號	氏名	工場所在地名	被保險者證交付年月日	被保險者證無効年月日	備考
わろ	一七六	岸本 モリエ	西伯郡渡村 渡製糸場	昭和七年 十一月九日	昭和八年六月二十六日	
もち	一	田中 繁治	東伯郡倉吉町 森鐵工所	同 六年 四月十七日	同	
には	一、四四三	生田 ツネ子	米子市角盤町 日本製糸米子工場	同 三年 十二月四日	同	
さり	四八六	笠見 治子	東伯郡倉吉町 株式會社 山陰製糸所	大正十五年 十二月二十日	同	
同	一、一四六	森本 千榮子	同	昭和四年 七月二日	同	
同	一、三六七	中林 信由	同	同 五年 四月三十日	同	
同	一、四六七	田中 君子	同	同 五年 九月二十二日	同	
同	一、七三七	加島 富子	同	同 七年 九月二十八日	同	

00062

者ハ來ル七月十五日迄ニ管理者本集郡山添村長へ申出ツベク若シ右期日迄ニ申出ナキトキハ管理者ニ於テ適宜改葬ノ旨照會アリタリ
昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

◆鳥取縣告示第二百七十二號
滋賀縣東淺井郡虎姬村大字大寺字五反田一、〇五三番地墓池四畝十二歩ハ今回全部改葬スル事ト爲リタルニ付右墓地ノ葬主縁故者ハ至急虎姬村長ニ申出ヅベク若シ申出ナキモノハ管理者ニ於テ便宜改葬ノ旨照會アリタリ

鳥取縣知事 館 哲 二

◆鳥取縣告示第二百七十三號
健康保險法施行規則第二十三條ニ依リ交付シタル被保險者證中左記ノモノハ無効トス
昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

00063

同	一、七六九	宮川時子	同	同	十七年	十月二十一日	同
をい	三	宮木より子	八頭郡山形村 大内製材株式會社	大正十五年 十二月二十五日	同	同	同
同	五	宮木敬一	同	同	同	同	同
には	八三三	樋野トヨ	米子市角盤町 日本製糸米子工場	昭和二年 三月二十四日	同	同	同

鳥取縣告示第二百七十四號

米生産統計調査費補助規程左ノ通定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

米生産統計調査費補助規程

- 第一條 米生産統計ノ改善ヲ圖ル爲市町村ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金ハ市町村ニ於ケル米生産統計調査ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス

00064

- 第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル市町村ハ申請書(第一號様式)ニ收支豫算書(第二號様式)ヲ添附シ前年度三月末日迄ニ知事ニ提出スベシ
- 第四條 補助金ノ交付ヲ申請シ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村前條ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ知事ノ承認ヲ受クベシ
- 第五條 補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ翌年度六月末日迄ニ收支決算書(第二號様式)ヲ知事ニ提出スベシ
- 第六條 補助金ノ交付ヲ受ケタル費用ハ之ヲ他ノ費途ニ流用スルコトヲ得ズ
- 第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ
 - 一 本規程ニ違反シタルトキ
 - 二 米生産統計事務ノ處理不適當ト認メタルトキ
 - 三 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

第三條中前年度三月末日迄トアルハ昭和八年度ニ限り昭和八年七月末日迄トス

(第一號樣式)

米生產統計費補助申請

一金何圓也

右昭和何年度米生產統計費補助トシテ交付相成度收支豫算書相添へ此段及申請候也

年月日

市町村長 氏

名 印

知事 宛

(第二號樣式)

昭和何年度米生產統計費收支豫算(決算)書

收 入

科 目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	增 減	備 考
縣補助金				

支 出

科 目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	增 減	備 考
市町村負擔額				

科 目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	增 減	備 考
米生產統計 調查員手當				調査區何區 調査員何當人一人手當何 圓何錢
坪刈實施費				何箇所分 一箇所當何圓何錢
其ノ他ノ費用				何々
計				

注意

00067

- 一 増減欄ノ減ニハ△印ヲ附スベシ
- 二 決算報告ノ場合ハ別ニ報告書ヲ添付セズシテ本書最初ノ欄外ニ報告年月日及市町村名ヲ記シ市町村長ノ公印ヲ押捺シテ提出スベシ

◆鳥取縣告示第二百七十五號

大正十五年三月鳥取縣告示第七十八號標準木炭檢定會規則中左ノ通改正シ昭和八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

第一條中「木炭檢査所」ヲ「林產物檢査所」ニ改ム

◆鳥取縣告示第二百七十六號

林產物檢査員服制左ノ通定メ昭和八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正十五年六月鳥取縣告示第四百十八號鳥取縣木炭檢査員服制ハ之ヲ廢止ス

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

00068

林產物檢査員服制

上 衣						
地 質	制 式	釦	徽 章	地 質	制 式	地 質
得	背廣、立襟	徑 一、八糎 金色(梨地) 一行五個ヲ附ス	七寶燒圓形濃紺地ニ銀色ヲ以テ林檢ノ二字ヲ表シタルモノヲ右襟ニ附ス形狀圖ノ如シ	上衣ニ同ジ	普通長袴型	適宜、色ハ黒又ハ紺トシ夏衣ハ茶褐或ハ霜降トナスコトヲ得
帽						
地 質						
制 式						
地 質						
制 式						
夏ハ麥藁帽ヲ代用スルコトヲ得						

00069

當分ノ内徽章ヲ左胸部ニ附シ制服ニ代用スルコトヲ得

帽章	金色櫟葉ヲ交叉セル上ニ林檢ノ二字ヲ表ス形状圖ノ如シ
日覆	白色布帽ノ上部ヲ包ム

徽 章



徑一・五 槲

帽 章



橫 徑 三・七 槲
縱 徑 三・〇 槲

◆鳥取縣告示第二百七十七號

鳥取縣林產物檢査出張所、同檢査員駐在所ノ名稱、位置及所轄區域左ノ通定メ昭和八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年三月鳥取縣告示第八十五號ハ之ヲ廢止ス

00070

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館 哲 二

名 稱	位 置	所 轄 區 域
鳥取縣林產物檢査出張所	鳥取市	鳥取市、岩美郡、氣高郡一圓
同 鳥取檢査員駐在所	同	鳥取市、岩美郡ノ内美保村、米里村、倉田村、面影村、津ノ井村、氣高郡ノ内湖山村、賀露村、千代水村、松保村、大正村、東郷村、吉岡村、大郷村、末恒村
同 成器檢査員駐在所	岩美郡成器村	成器村、宇倍野村
同 大茅檢査員駐在所	大茅村	大茅村
同 岩井檢査員駐在所	岩井町	岩井町、蒲生村、東村
同 小田檢査員駐在所	小田村	小田村、福部村、大岩村、本庄村、網代村、浦富町、田後村

00071

同	神戶検査員駐在所	氣高郡神戶村	神戸村、大和村、美穂村
同	明治検査員駐在所	同 明治村	明治村、豊實村
同	鹿野検査員駐在所	同 鹿野町	小鷺河村、鹿野町、逢坂村、勝谷村、正條村、瑞穂村、寶木村、酒津村
同	勝部検査員駐在所	同 勝部村	青谷町、勝部村、中郷村、日置村、日置谷村
鳥取縣林産物検査所 郡家出張所	八頭郡賀茂村	八頭郡一圓	賀茂村、隼村、大伊村、船岡村、國中村
同	郡家検査員駐在所	同	
同	私都検査員駐在所	同 上私都村	上私都村、中私都村、下私都村
同	丹比検査員駐在所	同 丹比村	丹比村、八東村、安部村、大御門村
同	若櫻検査員駐在所	同 若櫻町	若櫻町、池田村ノ内大字須澄、岩屋堂、吉川

00072

同	池田検査員駐在所	同 池田村	池田村ノ内大字落折、小船、大野、中原、加地、枹原
同	西郷検査員駐在所	同 西郷村	西郷村、八上村、河原町
同	用瀬検査員駐在所	同 用瀬町	用瀬町、大村、國英村
同	佐治検査員駐在所	同 佐治村	佐治村、散岐村
同	社 検査員駐在所	同 社 村	社 村
同	智頭検査員駐在所	同 智頭町	智頭町、富澤村、土師村、那岐村
同	山形検査員駐在所	同 山形村	山形村
同	山郷検査員駐在所	同 山郷村	山郷村
鳥取縣林産物検査所 倉吉出張所	東伯郡倉吉町	東伯郡一圓及西伯郡、逢坂村、光徳村、名和村	

鳥取縣公報 第四百三十三號 昭和八年六月三十日 (第三種郵便物認可) 五四

鳥取縣公報 第四百三十三號 昭和八年六月三十日 (第三種郵便物認可) 五五

同	倉吉検査員駐在所	同	倉吉町、西郷村、日下村、長瀬村、橋津村、大誠村、下北條村、中北條村、上北條村、由良町、灘手村、社村、小鴨村、北谷村ノ内大字三江、福本
同	東郷検査員駐在所	同	東郷村、松崎村、花見村、舍人村、泊村、宇野村、浅津村
同	三朝検査員駐在所	同	三德村、三朝村、小鹿村
同	旭 検査員駐在所	同	旭村
同	竹田検査員駐在所	同	竹田村
同	矢送検査員駐在所	同	矢送村、山守村、南谷村、上小鴨村
同	高城検査員駐在所	同	高城村、築村、北谷村ノ内大字福本、三江ヲ除ク一圓
同	下郷検査員駐在所	同	上郷村、下郷村、市勢村、市勢崎村、逢東村、八橋町、古布庄村
同	以西検査員駐在所	同	以西村、成美村、安田村、赤崎町

同	上中山検査員駐在所	同	上中山村、下中山村、西伯郡逢坂村、光徳村、名和村
鳥取縣林産物検査所 根雨出張所	日野郡根雨町	日野郡、西伯郡(逢坂村、光徳村、名和村ヲ除ク) 米子市一圓	日野郡、西伯郡(逢坂村、光徳村、名和村ヲ除ク) 米子市一圓
同	大山検査員駐在所	西伯郡大山村	大山村、宇田川村、高麗村、所子村、庄内村、淀江町、御來屋町
同	米子検査員駐在所	米子市	米子市、彦名村、住吉村、崎津村、渡村、外江村、上道村、餘子村、中濱村、大篠津村、夜見村、富益村、和田村、境町、加茂村、車尾村、福米村、福生村、巖村、大和村、日吉津村
同	法勝寺検査員駐在所	西伯郡法勝寺村	上長田村ノ内大字能竹、下中谷(辟牛ヲ除ク) 法勝寺村、大國村、天津村、成質村
同	上長田検査員駐在所	同	上長田村ノ内大字大木屋、上中谷、下中谷(内辟牛)
同	東長田検査員駐在所	同	東長田村、幡郷村、賀野村、手間村、尙徳村、五千石村、春日村
同	二部検査員駐在所	日野郡二部村	二部村

00075

同	江尾検査員駐在所	同	江尾村	溝口町、八郷村、日光村、大幡村、縣村、大高村、
同	神奈川検査員駐在所	同	神奈川村	神奈川村、米澤村
同	根雨検査員駐在所	同	根雨町	根雨町、日野村
同	黒坂検査員駐在所	同	黒坂村	黒坂村
同	大宮検査員駐在所	同	大宮村	大宮村
同	阿毘縁検査員駐在所	同	阿毘縁村	阿毘縁村
同	山上検査員駐在所	同	山上村	山上村
同	多里検査員駐在所	同	多里村	多里村(大字萩原、多里ヲ除ク)
同	生山検査員駐在所	同	日野上村	日野上村、多里村ノ内大字萩原、多里

00076

同	福榮検査員駐在所	同	福榮村	福榮村
同	石見検査員駐在所	同	石見村	石見村

◆鳥取縣告示第二百七十八號

鳥取縣穀物検査標準品査定会規則左ノ通之ヲ定ム

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事

館

哲

二

穀物検査標準品査定会規則

第一條 穀物検査規則第七條ノ規程ニ依ル検査等級ノ標準品(以下單ニ標準品ト稱ス)ハ標準品査定会ノ意見ヲ聽キ知事之ヲ定ム、但シ知事ニ於テ標準品ノ査定会ヲ開ク暇ナシト認ムル時ハ此ノ限ニ非ラズ

第二條 標準検査定會ハ會長一名委員若干名ヲ以テ之ヲ組織シ會長ハ穀物検査所長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ毎年知事之ヲ囑託ス

57000

00077

第三條 會長ハ會務ヲ掌理シ會議シ議長トナル會長事故アル時ハ知事ノ指名シタル委員其ノ事務ヲ代理ス

第四條 標準品査定會ハ標準品ヲ定ムル爲其ノ年本縣内ニ於テ生産シタル穀物ノ中ヨリ蒐集シ品質、粒形、乾燥、調製(精米ニ在リテハ精白ノ程度)ヲ斟酌シ標準品ヲ査定ス其ノ方法ハ標準品査定會ノ定ムル所ニ依ル

第五條 標準品檢定会ニ書記一名ヲ置キ穀物檢査所主事補ヲ以テ之ニ充ツ書記ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス

附 則

第六條 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 明治四十四年九月鳥取縣告示第二百五十五號鳥取縣穀物檢査標準米査定規則ハ本則公布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

◆鳥取縣告示第二百七十九號

昭和四年四月鳥取縣告示第九號鳥取縣穀物檢査所規程中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年六月三十日

鳥取縣知事 館

哲 二

第一條 穀物檢査所ハ穀物檢査及穀物ノ指導契勵ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條中「米穀檢査並米穀改良」ヲ「穀物檢査並穀物ノ指導契勵」ニ改ム

昭和八年六月三十日印刷
昭和八年六月三十日發行

發行者 鳥取縣 鳥取市東町 縣
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所